

令和2年9月19日

誌上研修会開催にあたって

研修部長 渡辺 登（長岡市立才津小学校）

新潟県国際理解教育研究会では、「世界に関心をもとう、そして広げようコミュニケーション力」を研究テーマとして掲げ、毎年9月に国際理解セミナーを開催しています。

セミナーでは在外教育施設で勤務され帰国された方の帰国報告、ツアー報告、国際理解教育の実践報告などを行い、会員個人がもつ見識や経験を共有・議論することで、教員としての資質を磨いて参りました。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、残念ながら参集してのセミナーを断念し、誌上研修とさせていただきます。誌上研修会開催にあたり、当会ホームページ上に、合計5本のレポートを掲載させていただきました。以下にご紹介いたします。

#### <国際理解教育実践レポート>

「SDGsを生かした学び場づくり」 村上市立荒川中学校 教諭 増田 有貴 様

増田様は2016年JICA教師海外研修で訪れたタイでの経験から、現在はSDGsとキャリア教育を結びつけた実践をされています。今回は荒川中学校での実践レポートをご寄稿いただくことができました。例年行われていた企業訪問をSDGsの観点から見直し、企業訪問の新しい形を提案されています。その後の国際協力バザー、小学校や地元企業との連携など、生徒の主体性を生かした実践には、多くの学びや授業づくりのヒントが詰まっています。ぜひお読みください。

#### <帰国報告レポート>

本年3月に帰国された方の中から今回4名の皆様から、在外教育施設や派遣国での生活の様子などに関するレポートをご寄稿いただきました。派遣国での生活の苦労話や、コロナ禍での様子など興味深い内容となっています。再派遣を希望したい衝動に駆られます。ぜひお読みください。

- ・「ミラノ日本人学校」 長岡市立川崎小学校 教諭 稲葉 謙太郎様
- ・「バンドン日本人学校」 柏崎市立田尻小学校 教諭 中村 昭宏 様
- ・「上海日本人学校浦東校」 シニア 竹内 暁美 様
- ・「日本メキシコ学院日本コース」 新潟市立岡方第一小学校 教諭 花岡 綾子 様

なお、誌上研修会は、メーリングリストを活用して会員個人がレポート報告に関するご感想やご質問を共有する形で行います。（国際理解教育研究会のメーリングリストに登録されている方限定とさせていただきます。ご了承ください。）詳しくは、メーリングリストからのメールをご覧ください。研修会の趣旨をご理解いただき、多くの皆様のご参加をお願いします。

研修部といたしまして、今後、ホームページやメーリングリストを活用し、会員相互の研修を深めていきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。